

## 宮前小学校訪問

6月22日（金）

アメリカの小学校の先生たち11人とコロラド大学キャサリン・石田先生が一行全員で訪問した。訪問前からのリクエストもあり、1年生の紙芝居の授業を見学。本物の紙芝居の枠組みを使った担任の先生の語りに子どもたちはくぎ付けになって聞いていた。その後、2年生の授業を参観した。校長室で柏葉校長先生が英語で学校紹介をプレゼンテーション。中休み、子どもたちが元気よく遊ぶ様子を見学。3時間目3年生が自分たちが作り上げた特別活動として体育館でドッジボールをするのを参観。4時間目はこの日がプール開きだったので、1・2年生がプールに入るところを見学。その後、一人ずつ教室に分かれて子どもたちと一緒に給食を食べた。委員会活動で子どもたちが歯磨きの説明をして、皆で歯磨きをした後教室まわりの清掃まで見学できた。

6月26日（火）の3校時カレン先生の授業

給食を食べるオープンスペースで6年生2クラス全員60名をマドック小学校のカレン先生が授業した。キャサリン・石田先生が通訳で補助した。まず、カレン先生の自己紹介から始まり、アメリカについてのお話、マドック小学校があるシカゴについてと小学校の紹介と続いた。子どもたちの学習や生活についての説明があった。60名全員参加のビンゴゲームで盛り上がり、引き続き質問コーナーになった。質問の内容は、「日本になくてアメリカにあるもの」、「日本とアメリカの授業で、違う教科はあるのか」、「休み時間には、どんなことをして遊んでいるのか」、などであったが、アメリカでは、朝食が配布される地域があったり、昼食はいくつかの選択肢があったりすることに子どもたちは驚いている様子だった。

（特任准教授 越智豊）